

株主の
皆さまへ

第 **161** 期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



住友大阪セメント株式会社

証券コード: 5232

● 株主・投資家の皆さまへ



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第161期上半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

取締役社長 諸橋 央典

● 第161期上半期の経済情勢

当上半期におけるわが国経済は、物価上昇の影響がみられたものの、輸出の持ち直しや政府の経済対策等の効果もあり、緩やかな回復が続きました。

セメント業界におきましては、人手不足や建設コストの上昇等の影響により、官公需、民需ともに減少したことから、セメント国内需要は、前年同期を6.5%下回る17,391千トンとなりました。一方、輸出は、前年同期を31.3%下回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前年同期を11.6%下回る20,688千トンとなりました。

● 第161期上半期の業績

当社グループは、中長期ビジョンとして定めた2035年のありたい姿「SOC Vision2035」において、環境解決をキーワードとして、持続的な成長を通じて、社会の中で存在感のある会社となることを目指しております。その最初のステップとして、「2023-25年度 中期経営計画」を策定し、当上半期は、コストアップに対応した国内販売価格の値上げによるセメント事業収益力回復に努め、半導体製造装置向け電子材料事業へのリソース集中投入による規模拡大・収益力強化を図り、さらには人材戦略、DX戦略等に係る諸施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、売上高は、セメント事業等で増収となったことから、109,786百万円と前年同期に比べ14,112百万円の増収となりました。経常利益は、セメント事業で好転したことなどから、2,676百万円と前年同期に比べ8,167百万円好転し、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことから、5,878百万円と前年同期に比べ8,789百万円の好転となりました。

なお、当社は、安定配当継続をベースに総還元性向3カ年平均50%以上を目指しております。当期の中間配当につきましては、1株につき、60円とさせていただきます。

● 第161期通期の見通し

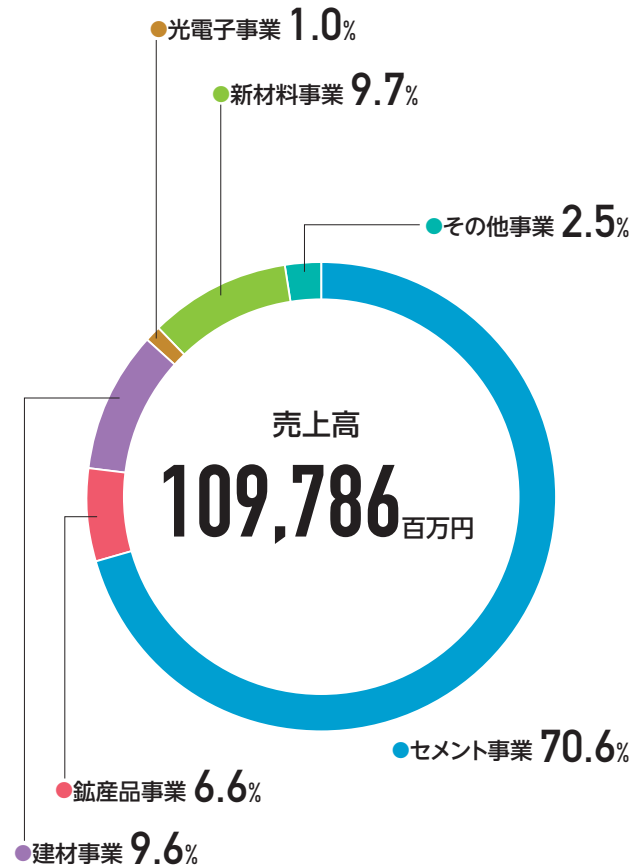
今後のわが国経済は、物価上昇や海外経済の下振れによる影響がわが国の景気を下押しするリスクが存在するものの、設備投資の持ち直しや政府の経済対策等の効果もあり、引き続き緩やかな回復が続くことが期待されます。

セメント業界におきましては、都市部における再開発工事等の民間設備投資が持ち直すことにより、民需は、増加することが見込まれるものの、人手不足や建設コストの上昇等の影響により、官公需が引き続き減少すると見込まれることから、セメント国内需要は、減少するものと思われます。

当社グループは、2023年度からスタートさせた「2023-25年度 中期経営計画」に基づき、「既存事業収益改善」として、セメント事業収益力回復、次世代光通信部品の市場シェア獲得による収益改善、「成長基盤構築」として、半導体製造装置向け電子材料事業へのリソース集中投入による規模拡大・収益力強化、海外事業拡大(豪州事業)、脱炭素分野の新規事業開発、「経営基盤強化」として、人材戦略、研究開発戦略、知財戦略、DX戦略に係る諸施策に取り組んでおります。これらの取り組みを通じて利益の最大化を実現し、安定配当を含めた株主還元の充実を図るとともに、資産圧縮等による資本最適化を通じて、2025年度の数値目標として、ROE(自己資本当期純利益率)8%以上およびROIC(投下資本利益率)5%以上を目指してまいります。

● 事業別概況

売上高構成比



セメント事業

ポルトランドセメント(普通、早強、中庸熱、低熱)、高炉セメント、フライアッシュセメント、セメント系固化材、生コンクリート、電力の供給、原燃料リサイクル

● 第2四半期売上高
77,535 百万円
前年同期比
12,527 百万円(19.3%)増

● 第2四半期営業利益
△3,163 百万円
前年同期比
8,236 百万円増

販売数量が前年同期を下回ったものの、コストアップに対応した国内販売価格の値上げを実施したことなどから、売上高は、77,535百万円と前年同期に比べ12,527百万円の増収となり、損益は、前年同期に比べ8,236百万円の好転となったものの、3,163百万円の営業損失となりました。



鉱産品事業

石灰石、ドロマイト、タンカル、骨材、シリカ微粉

● 第2四半期売上高
7,268 百万円
前年同期比
471 百万円(6.9%)増

● 第2四半期営業利益
1,629 百万円
前年同期比
364 百万円(28.8%)増

海外および国内鉄鋼向け石灰石の販売数量が増加したことなどから、売上高は、7,268百万円と前年同期に比べ471百万円の増収となり、営業利益は、1,629百万円と前年同期に比べ364百万円の増益となりました。



建材事業

コンクリート構造物補修・補強(材料、工事)、各種混和材、重金属汚染対策材、魚礁・藻場礁、電気防食工法、各種地盤改良工事、PC(製品、工事)、各種ヒューム管

● 第2四半期売上高
10,533 百万円
前年同期比
189 百万円(1.8%)増

● 第2四半期営業利益
588 百万円
前年同期比
106 百万円(15.4%)減

コンクリート二次製品の販売数量が増加したことなどから、売上高は、10,533百万円と前年同期に比べ189百万円の増収となったものの、原材料費等のコストが増加したことなどから、営業利益は、588百万円と前年同期に比べ106百万円の減益となりました。



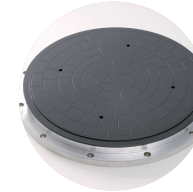
光電子事業

光通信部品、光計測機器

● 第2四半期売上高
1,151 百万円
前年同期比
13 百万円(1.2%)増

● 第2四半期営業利益
△167 百万円
前年同期比
17 百万円減

光計測機器の販売数量が増加したことから、売上高は、1,151百万円と前年同期に比べ13百万円の増収となったものの、生産コストが増加したことなどにより、損益は、167百万円の営業損失と前年同期に比べ17百万円の悪化となりました。



新材料事業

各種セラミック製品、各種ナノ粒子材料、抗菌剤、化粧品材料、各種機能性塗料、防汚塗料、熱線遮蔽塗料

● 第2四半期売上高
10,645 百万円
前年同期比
484 百万円(4.8%)増

● 第2四半期営業利益
1,869 百万円
前年同期比
815 百万円(30.4%)減

半導体製造装置向け電子材料の販売数量が増加したことから、売上高は、10,645百万円と前年同期に比べ484百万円の増収となったものの、生産コストが増加したことなどから、営業利益は、1,869百万円と前年同期に比べ815百万円の減益となりました。



その他事業

不動産賃貸、エンジニアリング、ソフトウェア開発

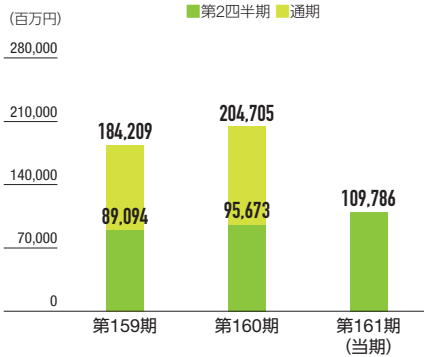
● 第2四半期売上高
2,652 百万円
前年同期比
426 百万円(19.2%)増

● 第2四半期営業利益
1,037 百万円
前年同期比
166 百万円(19.2%)増

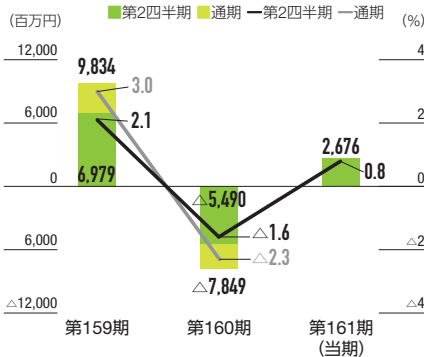
電気設備工事が増加したことに加え、ソフトウェアの販売が増加したことなどから、売上高は、2,652百万円と前年同期に比べ426百万円の増収となり、営業利益は、1,037百万円と前年同期に比べ166百万円の増益となりました。

● 業績ハイライト(連結)

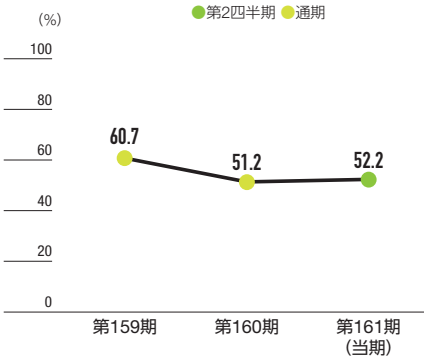
売上高



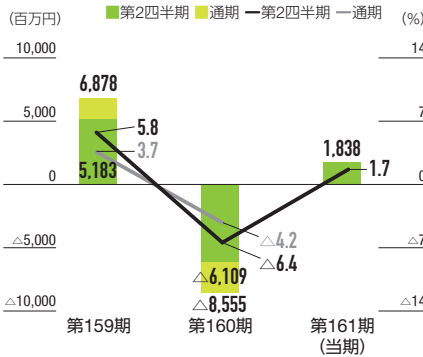
経常利益／ROA



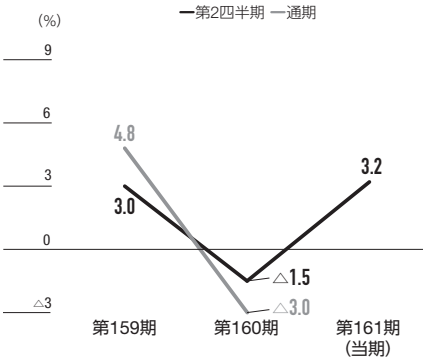
自己資本比率



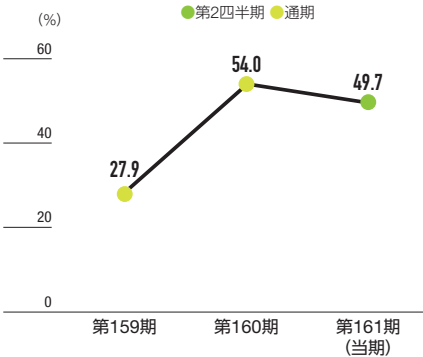
営業利益と営業利益率



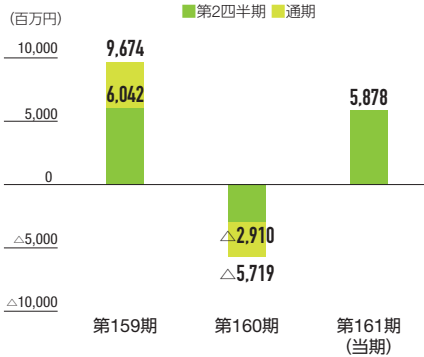
ROE



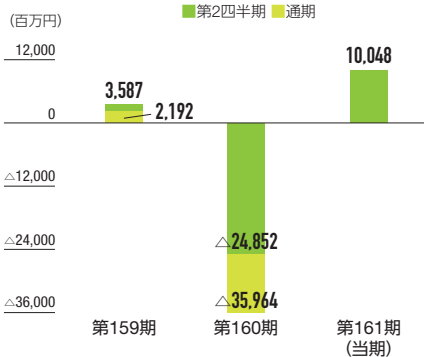
DEレシオ



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



フリーキャッシュ・フロー



IRサイトのご紹介

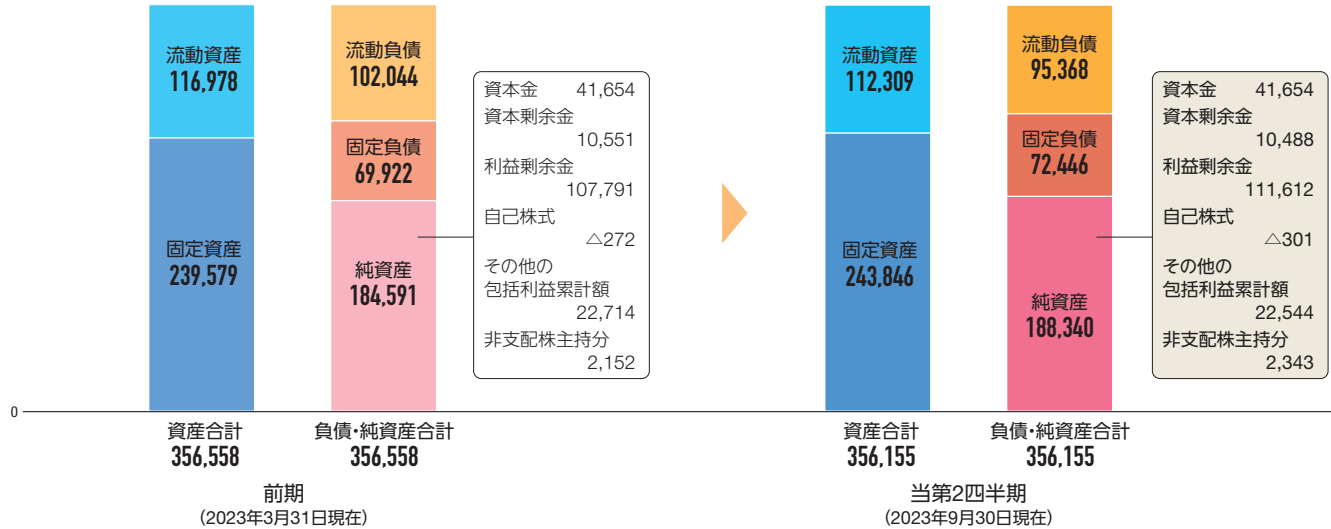
より詳細な財務情報については当社ホームページ「IR資料室」ページをご参照ください。

住友大阪セメント IR 検索

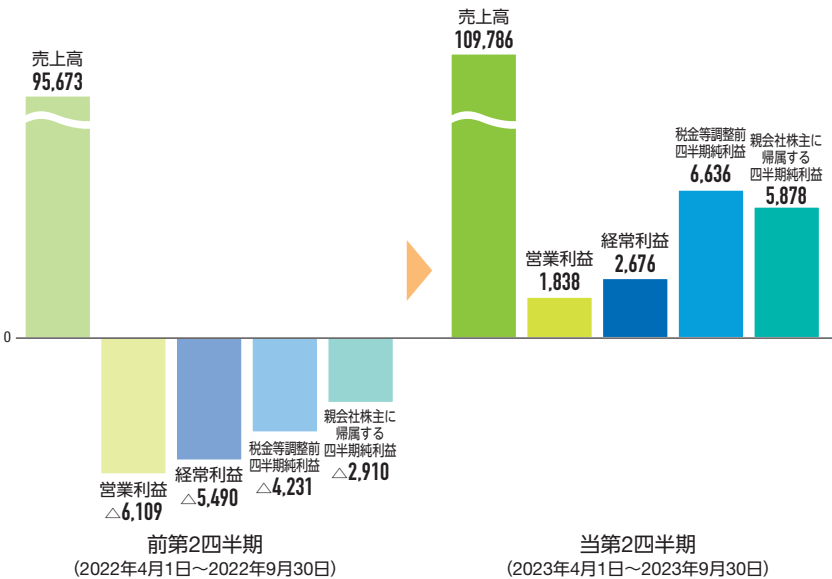
<https://www.soc.co.jp/ir/document/>

● 連結財務諸表

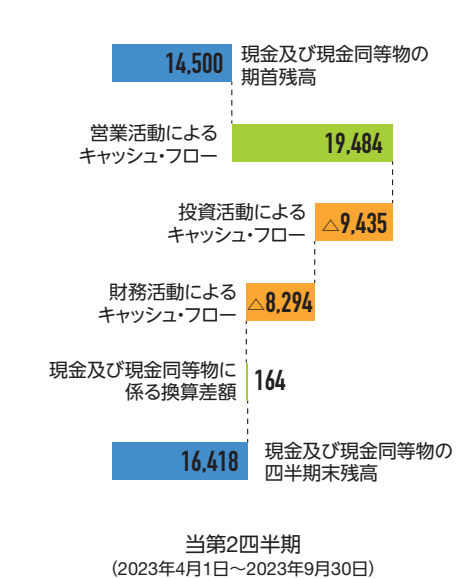
連結貸借対照表の概要(単位:百万円)



連結損益計算書の概要(単位:百万円)



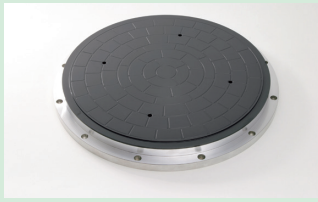
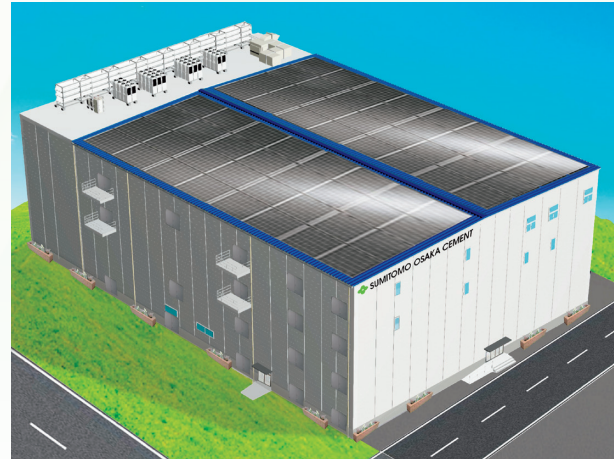
連結キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)



半導体製造装置向け電子材料(静電チャック) 生産能力増強

2023年7月に、市川事業所において静電チャックの生産能力増強工事・新製造棟の建設を着工しました。当社の静電チャックは、高純度のSiC(炭化ケイ素)超微粒子を原料とした高純度、高熱伝導、高耐電圧、高耐久性の特性を持ち、半導体製造装置の主要部品として数多く採用されていますが、半導体需要の拡大に対応する為、約120億円を投じて新製造棟建設を含む生産能力増強投資を行い、生産能力を現状の約2倍に引き上げていきます。

今後も中長期に亘り成長が見込まれる半導体製造装置需要に対応し、顧客ニーズに適した製品をタイムリーに生産・出荷することで、事業の拡大を図るとともに、高品質製品の安定的な供給を通じて、市場での競争力を強化していきます。



半導体製造装置向け電子材料(静電チャック)

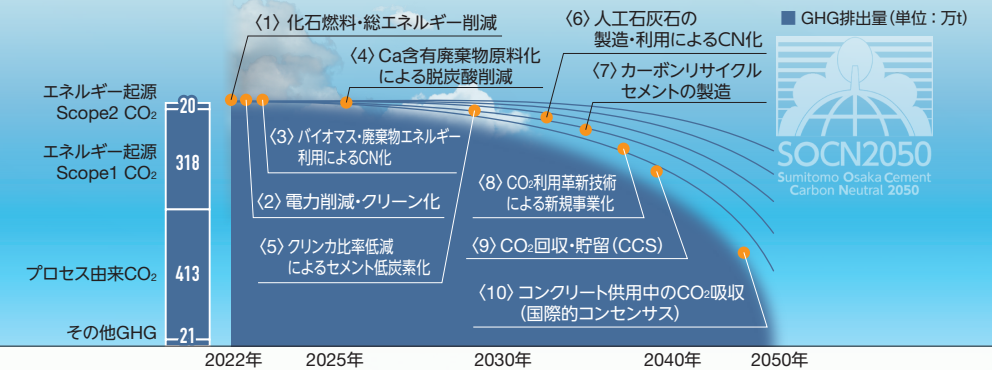
半導体製造工程において静電気力を用いてシリコンウェハを固定する機能を持つもので半導体製造装置の主要部品として使用されます。

2050年“カーボンニュートラル”ビジョン 「SOCN2050」の進捗

2050年カーボンニュートラルへのロードマップ

当社グループは、2050年までにカーボンニュートラルを実現する為、エネルギー起源CO₂の削減だけでなく、革新的な技術開発に取り組み、主原料の石灰石によるプロセス由来CO₂の削減も含めて、以下のような施策を段階的に展開していきます。

2050年CNに向けた10のステップ／10 Steps Stairway to SOCN2050



カーボンニュートラル実現に向けた最新の取組

- 2022年10月** ● CO₂を原料利用する人工石灰石を利用したコンクリート製品(U字側溝)が、「成瀬ダム原石山採取工事」で試行適用
- 2023年 5月** ● 人工石灰石製造の実証設備(大阪市大正区)の稼働開始
- 2023年 5月** ● GXリーグ参画



GXリーグ

GX(グリーン・トランスフォーメーション)に積極的に

取り組む企業が、行政や大学・公的研究機関、金融機関等と協力し、経済社会システム全体の変革の為の議論と新たな市場の創造の為の実践を行う場として設立されました。

● 会社概要／株式の状況 (2023年9月30日現在)

会社概要

商号 住友大阪セメント株式会社
Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd.

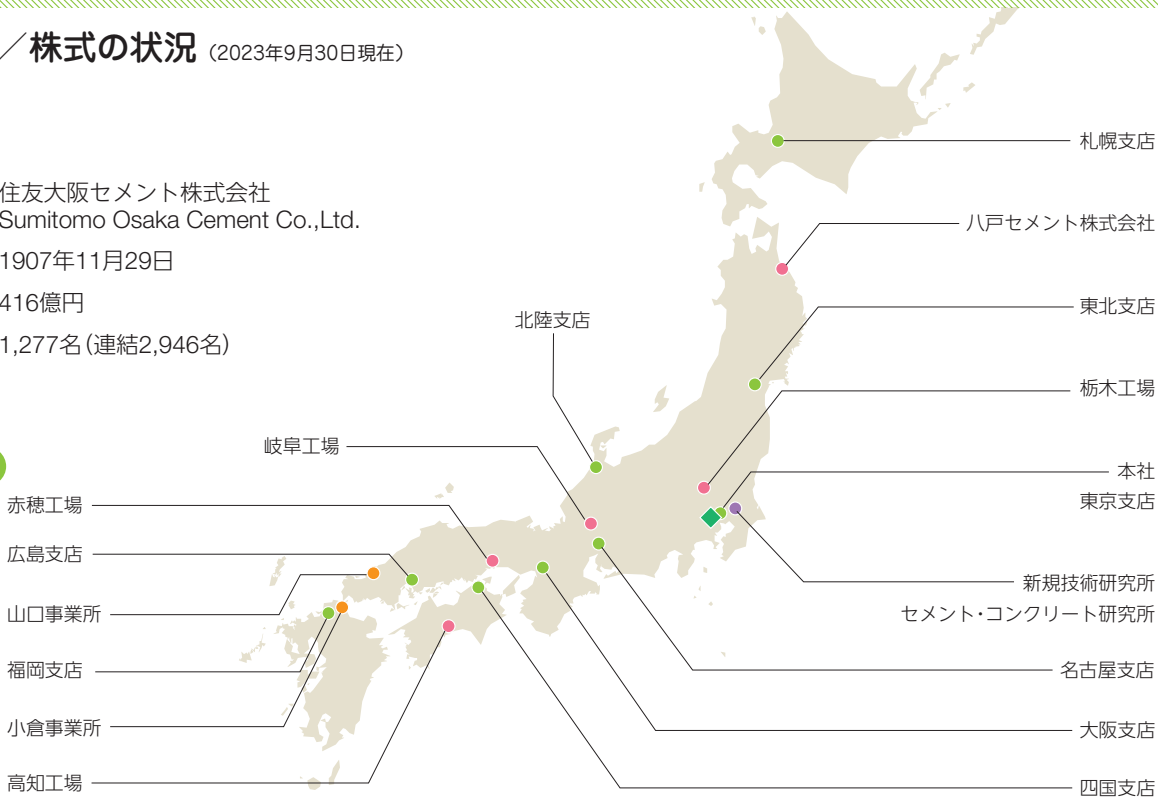
設立年月日 1907年11月29日

資本金 416億円

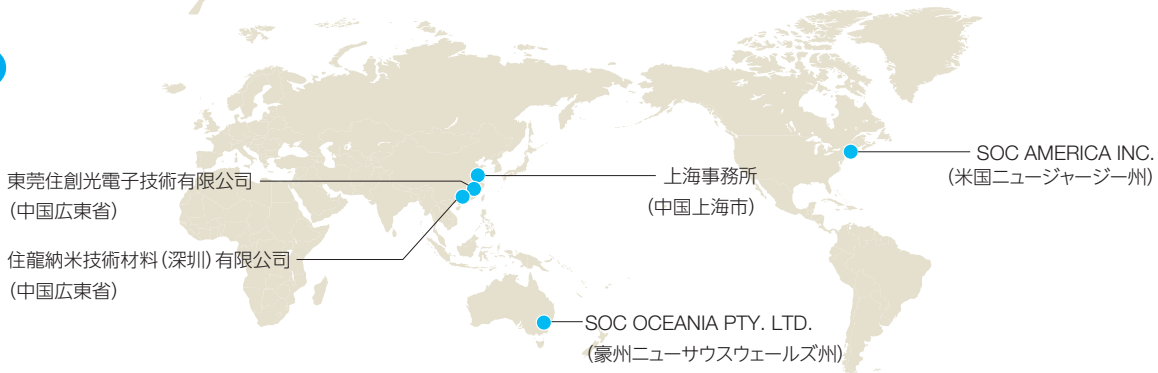
従業員数 1,277名(連結2,946名)

主な事業所

国内拠点



海外拠点

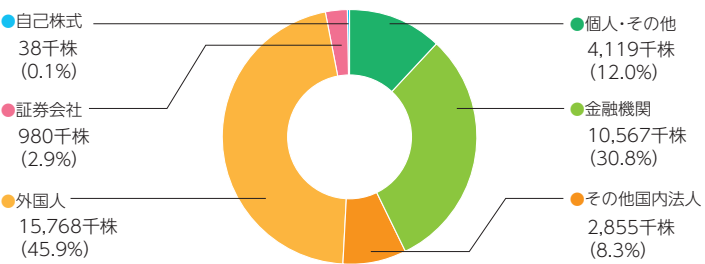


役員および執行役員

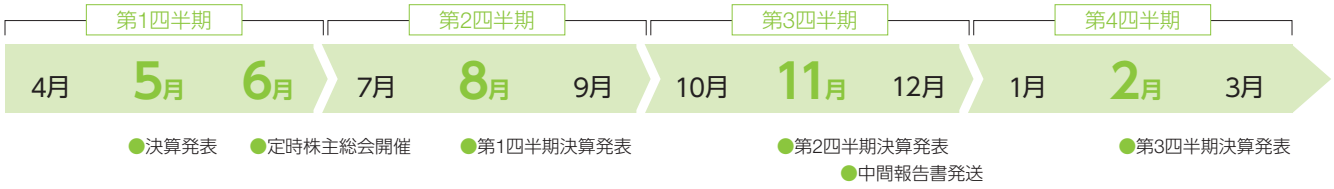
取締役会長	関根 福一	常務執行役員	小野 昭彦
※ 取締役社長	諸橋 央典	常務執行役員	小堺 規行
※ 取締役執行役員副社長	大西 利彦	常務執行役員	小福 嶋達雄
※ 取締役専務執行役員	土井 良治	執行役員	柳 町ともみ
取締役専務執行役員	小西 幹郎	執行役員	細田 啓介
取締役常務執行役員	関本 正毅	執行役員	橋本 康太郎
取締役	牧野 光子	執行役員	眞鍋 良彦
取締役	稲川 龍也		
取締役	森戸 義美		
監査役（常勤）	伊藤 要哉		
監査役（常勤）	起塚 岳司		
監査役	保坂 庄司		
監査役	鈴木 和男		
監査役	三井 拓		

(注) 1. ※印表示は、代表取締役を示します。
2. 取締役のうち牧野光子、稲川龍也および森戸義美の3氏は、社外取締役であります。
3. 監査役のうち保坂庄司、鈴木和男および三井拓の3氏は、社外監査役であります。

所有者別分布状況



IRカレンダー



株式の状況

発行可能株式総数 130,000,000株

発行済株式の総数 34,329,517株
(うち自己株式38,955株)

株主数 21,253名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,000	17.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,560	10.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,072	6.0
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,542	4.5
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	1,236	3.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,133	3.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	899	2.6
住友生命保険相互会社	852	2.5
THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND	833	2.4
株式会社三井住友銀行	641	1.9

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(38,955株)を除いた数に基づき、算出しております。なお、自己株式数には、役員向け株式報酬制度に係る信託が所有する当社株式39,600株は含まれておりません。

ホームページのご紹介

トップ
ページ

住友大阪セメント

検索

<https://www.soc.co.jp>



株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法	電子公告 (公告掲載アドレス http://www.soc.co.jp/frame08.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
-------	--

株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
-------------------------------	-----------------------------------

株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
-------------------	---

(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
----------	---

(電話照会先)	☎0120 (782) 031
---------	-----------------

(インターネットホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
-----------------	---

上場金融商品取引所	東京証券取引所
-----------	---------

単元株式数	100株
-------	------

株式に関する住所変更等のお手続についてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続ができませんので、お取引の証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

●株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続で必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- * 配当金に関する支払調書
- * 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

住友大阪セメント株式会社

〒105-8641 東京都港区東新橋一丁目9番2号

Tel. 03 (6370) 2700 (代表)

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。